



2021年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月8日
東

上場会社名 株式会社メディア工房 上場取引所
 コード番号 3815 URL <http://www.mkb.ne.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長沢 一男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 長沢 和宙 (TEL) 03-5549-1804
 四半期報告書提出予定日 2021年1月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第1四半期の連結業績(2020年9月1日~2020年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第1四半期	448	△0.6	4	38.3	5	426.7	5	—
2020年8月期第1四半期	450	△11.4	3	△64.0	1	△94.0	△4	—

(注) 包括利益 2021年8月期第1四半期 5百万円(—%) 2020年8月期第1四半期 △3百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第1四半期	0.52	—
2020年8月期第1四半期	△0.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第1四半期	2,974	1,195	40.2
2020年8月期	3,228	1,189	36.9

(参考) 自己資本 2021年8月期第1四半期 1,195百万円 2020年8月期 1,189百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年8月期	—	—	—	—	—
2021年8月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日~2021年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	1,960	9.0	10	—	0	—	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2021年8月期の通期業績見通しは、各事業の見通しに基づき予測する数値となっております。各事業の進捗並びに業績に与える影響を精査の上、当該連結業績予想に変更が生じた際は、速やかに訂正・開示いたします。



※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期1Q	11,300,000株	2020年8月期	11,300,000株
② 期末自己株式数	2021年8月期1Q	1,221,077株	2020年8月期	1,221,077株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期1Q	10,078,923株	2020年8月期1Q	10,078,923株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載される業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がございます。業績予想の前提となる条件及び業績のご利用に当たっての注意事項等に関しては、添付資料「1. 経営成績・財務状態に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大及び流行の長期化により、個人消費の減退並びに経済活動の停滞が進み、企業収益に著しい影響を与えました。段階的な経済活動の再開により一部持ち直しの傾向はみられるものの、依然としてその水準は低く、先行き不透明な状況が続いております。

このような情勢の中、当社グループは、既存事業の収益モデル再構築とWebコミュニケーションシステムの開発を中心とする新規事業（XR事業及びその他の事業）の推進に努めてまいりました。新規事業に係るシステムは概ね計画どおりに開発が進み、各既存事業については緩やかながらも売上が増加した一方、前連結会計年度末にゲームコンテンツ事業を実質撤退したこと及び既存事業の収益モデル再構築に一部遅れが生じたことが影響し、売上高は前年同期比で横ばいとなりました。また、営業利益においては、全社的に前年同期と比較して広告宣伝費が増加したこと及び新規事業のシステム開発に係るソフトウェアの償却費負担が先行し、前年同期比で減少しておりますが、いずれも当連結会計年度下半期以降の収益に貢献するものと見込んでおります。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高448百万円(前年同期比0.6%減)、営業利益4百万円(前年同期比38.3%増)、経常利益5百万円(前年同期比426.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益5百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失4百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、以下のとおりであります。なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しております。そのため、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

① 占いコンテンツ事業

占いコンテンツ事業においては、ISP、各移動体通信事業者及びAppleやGoogle等のプラットフォーム向けに主にインターネット回線上で占いコンテンツを企画・制作・配信する、1対N向けの占いコンテンツサービスを行っております。占いコンテンツサービスでは、他社に依存しない収益モデルの構築を目指し、自社占い総合サイト「大占館」、ポイントシステム「COIPO」、レコメンド機能の連携強化に注力してまいりました。当該連携強化を含む施策により、売上高については微増したものの、前年同期と比較して広告宣伝費が増加したこと及び前第4四半期連結会計期間より開始したシステムの減価償却が、営業利益に影響しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における占いコンテンツ事業の売上高は253百万円(前年同期比3.3%増)、営業利益93百万円(前年同期比10.6%減)となりました。

② One to One 事業

One to One 事業においては、ユーザーと占い師等を電話等で直接結び付ける、双方向のやり取りを特徴とした1対1向けのサービスを行っており、サービスの内容は「占い」と「非占い」の二つに分類されております。当第1四半期連結累計期間においては、個別的な対応を求めるユーザー傾向の高まりに伴い、売上高は増加しましたが、非占い分野のサービスである「きゃらデン」の改修及び広告宣伝費の増加により、営業利益においては、前年同期比で減少いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるOne to One 事業の売上高は162百万円(前年同期比7.8%増)、営業利益14百万円(前年同期比14.1%減)となりました。

③ メディア事業

メディア事業においては、AIを生かしたWebサイトの運営を行っております。当第1四半期連結累計期間においては、引き続き、検索エンジンのみならずに依拠しない収益構造の構築を目指し、既存メディアの運用強化による広告収入増加の他、自社Webサイト内における課金コンテンツの充実を図ってまいりました。これにより、一部既存メディアの運営に安定傾向がみられるようになり、前年同期比で売上収益ともに増加しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるメディア事業の売上高は30百万円(前年同期比40.9%増)営業利益4百万円(前年同期比296.1%増)となりました。

④ XR事業

XR事業においては、リアルタイム実写立体動画撮影技術を活用したサービスの企画・制作並びに多機能コミュニケーションプラットフォームの開発・運営及びサービス支援を行っております。当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の流行により、実写立体動画の撮影が困難な状態が継続していることを鑑み、多機能コミュニケーションプラットフォームの開発にリソースを集中いたしました。開発は概ねスケジュール通りに進捗いたしました。開発への先行投資により営業損失を計上しております。当該コミュニケーションプラットフォームは、当第1四半期連結累計期間以降、BtoB向けに利用を開放しており、第2四半期連結累計期間において、システム利用料として、一部収益を見込んでおります。

なお、コミュニケーションプラットフォームの開発は当社が行っておりますが、当該プラットフォームを活用したサービスの企画制作及び提携先の開拓は、株式会社ミックススペース（当社100%子会社）が行っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるXR事業の売上高は一百万円（前年同期は売上高0百万円）、営業損失18百万円（前年同期は営業損失12百万円）となりました。

⑤ その他の事業

当第1四半期連結累計期間における新規事業は、ヘルスケア分野に特化し、高品質サプリメントの販売（提携によるeコマース販売を含む）等を推進してまいりました。前連結会計年度における新規事業の内容精査による事業の見直しにより営業損失は前年同期比で縮小いたしました。現時点においてはいずれの新規事業も収益貢献には至っておりません。

なお、自社運営の越境eコマースについては、新型コロナウイルス感染症の流行により、一時的に停止しておりますが、状況の変化に応じて再開を検討してまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるその他の事業の売上高は1百万円（前年同期比94.7%減）、営業損失16百万円（前年同期は営業損失17百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の当社グループの財政状況は以下のとおりです。

なお、資本の財源及び資金の流動性にかかる情報については、当第1四半期連結会計期間末において、重要な変更等はありません。

① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して254百万円減少し、2,974百万円となりました。

これは主に、現金及び預金の減少247百万円によるものであります。

資産の内訳は、流動資産2,615百万円、有形固定資産26百万円、無形固定資産164百万円、及び投資その他の資産167百万円となっております。

② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して259百万円減少し、1,778百万円となりました。

これは主に、長期借入金の返済251百万円によるものであります。

負債の内訳は、流動負債1,104百万円、固定負債674百万円となっております。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比較して5百万円増加し、1,195百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、占いコンテンツ事業及びメディア事業を中心として安定的な収益を確保すると同時に、積極的かつ継続的な投資を行い新規事業を育成することで経営の多角化を進めてまいります。財務面に関しましては、これまで同様資産の透明性を確保し、新規事業への挑戦を、安定した内部留保によって下支えする健全な経営を行う考えであります。

なお、各事業別の見通し及び2021年8月期の通期業績見通しにつきましては、2020年10月9日の「2020年8月期決算短信」で公表しました通期業績予想に変更はありません。しかしながら、昨今流行する新型コロナウイルス感染症については、いまだその感染拡大が続いており、当社事業に限らず今後の影響は不透明であると判断せざるを得ません。各事業の進捗並びに業績に与える影響を精査の上、当該連結業績予想に変更が生じた際は、速やかに訂正・開示いたします。

(注) 本記載内容につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。今後の展開には様々な不確定要素が内在しており、実際の進捗はこれらと異なる場合がありますので、本記載内容を全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えられますようお願いいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,500,968	2,253,742
売掛金	288,025	277,185
商品	—	170
仕掛品	12,030	11,506
貯蔵品	349	376
その他	73,630	73,577
貸倒引当金	△656	△907
流動資産合計	2,874,347	2,615,652
固定資産		
有形固定資産	32,625	26,338
無形固定資産	157,776	164,982
投資その他の資産		
敷金及び保証金	101,510	101,510
その他	62,192	65,850
貸倒引当金	△235	△235
投資その他の資産合計	163,467	167,125
固定資産合計	353,868	358,446
資産合計	3,228,215	2,974,098
負債の部		
流動負債		
買掛金	52,107	59,328
1年内返済予定の長期借入金	959,301	897,135
未払費用	43,358	45,246
未払法人税等	5,226	6,687
未払消費税等	17,627	16,901
その他	96,623	78,928
流動負債合計	1,174,245	1,104,227
固定負債		
長期借入金	864,114	674,512
固定負債合計	864,114	674,512
負債合計	2,038,359	1,778,739

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	451,459	451,459
資本剰余金	422,578	422,578
利益剰余金	835,529	840,807
自己株式	△514,204	△514,204
株主資本合計	1,195,363	1,200,641
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△5,507	△5,282
その他の包括利益累計額合計	△5,507	△5,282
純資産合計	1,189,856	1,195,359
負債純資産合計	3,228,215	2,974,098

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2019年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2020年11月30日)
売上高	450,965	448,053
売上原価	239,570	233,724
売上総利益	211,394	214,328
販売費及び一般管理費	208,037	209,684
営業利益	3,357	4,644
営業外収益		
受取利息	52	3
補助金収入	—	4,000
その他	19	317
営業外収益合計	71	4,320
営業外費用		
支払利息	2,291	3,282
その他	137	414
営業外費用合計	2,428	3,697
経常利益	1,000	5,267
税金等調整前四半期純利益	1,000	5,267
法人税、住民税及び事業税	1,289	3,667
法人税等調整額	5,724	△3,678
法人税等合計	7,014	△10
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,014	5,278
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,250	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,764	5,278

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,014	5,278
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,037	224
その他の包括利益合計	2,037	224
四半期包括利益	△3,976	5,502
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,847	5,502
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,129	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	占いコンテ ンツ事業	One to One 事業	メディア 事業	XR事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	245,779	150,471	21,468	33	417,752	33,212	450,965	—	450,965
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	1,190	—	1,190	—	1,190	△1,190	—
計	245,779	150,471	22,658	33	418,942	33,212	452,155	△1,190	450,965
セグメント利益又は セグメント損失(△)	104,595	16,734	1,082	△12,591	109,821	△17,989	91,832	△88,474	3,357

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゲーム事業、医療ツーリズム事業及び越境eコマース事業などを含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△88,474千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用88,474千円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	占いコンテ ンツ事業	One to One 事業	メディア 事業	XR事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	253,796	162,249	30,250	—	446,296	1,757	448,053	—	448,053
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	1,177	—	1,177	—	1,177	△1,177	—
計	253,796	162,249	31,428	—	447,473	1,757	449,230	△1,177	448,053
セグメント利益又は セグメント損失(△)	93,529	14,376	4,289	△18,147	94,046	△16,297	77,749	△73,105	4,644

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゲーム事業、医療ツーリズム事業及び越境eコマース事業などを含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△73,105千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用73,105千円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間より「ゲーム事業」について量的な重要性が減少したため「その他」として記載する方法に変更しております。

また、従来、ユーザーと占い師を電話等で直接結び付ける、双方向のやり取りを特徴としたOne to Oneサービスを占いコンテンツ事業、メディア事業の一部として区分してきましたが、One to One事業の戦略上の重要性が増したため「One to One事業」として区分する方法に変更しております。

前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「XR事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。